

世界セレクトティブ株式 オープン (年2回決算型)

運用報告書 (全体版) 第11期

(決算日 2025年4月25日)

(作成対象期間 2024年10月26日~2025年4月25日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2020年2月3日~2050年4月25日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アンカーMFGグローバル株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)の受益証券 ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。各計算期末における収益分配前の基準価額(1万円当り)が10,000円超の場合、10,000円を超える額をめぐに分配金額を決定します。なお、計算期末に向けて基準価額が大きく上昇した場合は、基準価額の動向等によっては、実際の分配額がこれと異なる場合があります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
7期末(2023年4月25日)	10,209	330	4.3	15,946	2.7	—	100.0	14,268
8期末(2023年10月25日)	10,007	1,040	8.2	17,793	11.6	—	98.8	10,844
9期末(2024年4月25日)	10,093	2,390	24.7	22,048	23.9	0.0	99.1	10,511
10期末(2024年10月25日)	10,189	600	6.9	24,411	10.7	0.0	99.4	12,056
11期末(2025年4月25日)	9,378	0	△ 8.0	22,333	△ 8.5	0.0	98.6	11,996

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

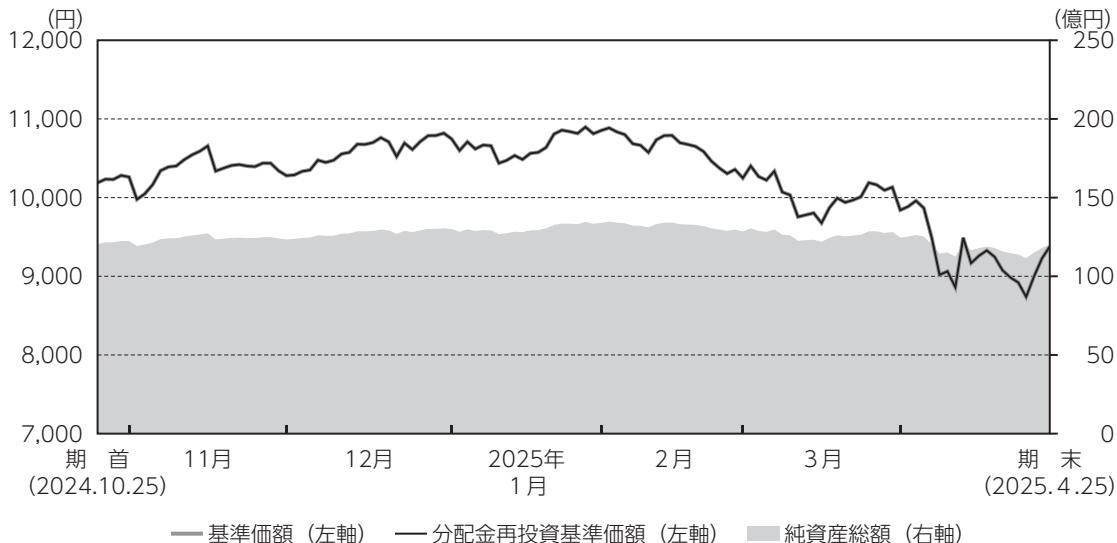
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,189円

期末：9,378円（分配金0円）

騰落率：△8.0%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

海外先進国株式市況が下落したことや、為替が円高に推移したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		M S C I コクサイ 指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 組 証 比	託 券 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2024年10月25日	円 10,189	% -	24,411	% -	% 0.0	% 99.4	
10月末	10,262	0.7	24,617	0.8	0.0	98.6	
11月末	10,279	0.9	24,753	1.4	0.0	98.6	
12月末	10,745	5.5	25,740	5.4	0.0	98.6	
2025年 1 月末	10,853	6.5	25,822	5.8	0.0	98.6	
2 月末	10,248	0.6	24,443	0.1	0.0	98.4	
3 月末	9,841	△3.4	23,548	△3.5	0.0	98.6	
(期末) 2025年 4 月25日	9,378	△8.0	22,333	△8.5	0.0	98.6	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024.10.26~2025.4.25)

■海外先進国株式市況

海外先進国株式市況は下落しました（米ドルベース）。

海外先進国株式市況は、当作成期首より2024年12月中旬にかけて、米国大統領選挙で市場に融和的とみられるトランプ氏が再選したことで、拡張的な財政政策や規制緩和への期待感から上昇しました。その後2025年2月中旬にかけては、米国の金融政策見通しに左右される場面も見られましたが、インフレ懸念の後退や利下げ継続期待が支援材料となり、堅調に推移しました。3月以降は、トランプ米国内閣の関税政策を受けて経済への悪影響が警戒される中、4月の初めには主要国に対する相互関税を打ち出したことで、世界的な貿易戦争の激化懸念が高まり、同月上旬にかけて反落しました。しかし、相互関税の一部についてその適用が90日間停止されたことなどにより、当作成期末にかけて反発しました。

■為替相場

米ドル円為替相場は下落（円高）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2024年12月末にかけて、米国の利下げペースの鈍化見通しや、日銀の追加利上げに対する慎重な姿勢が意識されたことで、上昇（円安）しました。その後2025年1月以降は、日銀が利上げに踏み切ったことや金融引き締め継続姿勢が意識されたことで、円高米ドル安基調で推移しました。当作成期末にかけては、トランプ米国内閣による相互関税の発表により米国経済の悪化懸念が強まり、さらに円高米ドル安が進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「MF Gグローバル株式ファンド」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「MF Gグローバル株式ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※MF Gグローバル株式ファンド：アンカーMF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■MF Gグローバル株式ファンド

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」とを効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024.10.26～2025.4.25)

■当ファンド

当ファンドは、「MF Gグローバル株式ファンド」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」を投資対象ファンドとするファンド・オブ・ファンズです。当作成期の運用にあたっては、「MF Gグローバル株式ファンド」の投資比率を高位に維持しました。

■MF Gグローバル株式ファンド

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業の生産性向上支援やキャッシュレス社会への移行など社会のデジタル化の進展、生活に必要な商品やサービスの提供における価格決定力、あるいは各国政府が推進する脱炭素化への取り組みなどを背景としたインフラ投資の拡大というメガトレンドからの恩恵を受けた収益拡大が期待できる企業群であると考えています。

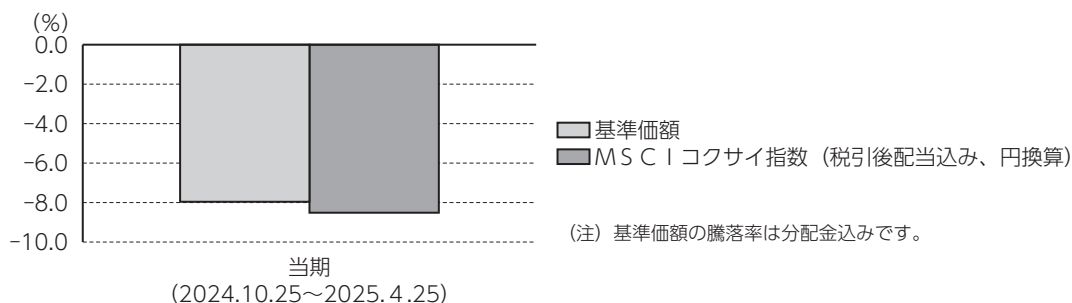
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は海外先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年10月26日 ～2025年4月25日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	550

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「MFGグローバル株式ファンド」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「MFGグローバル株式ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■MFGグローバル株式ファンド

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」とを効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2024.10.26~2025.4.25)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	58円	0.562%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,261円です。
（投 信 会 社）	(17)	(0.165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(39)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	58	0.566	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

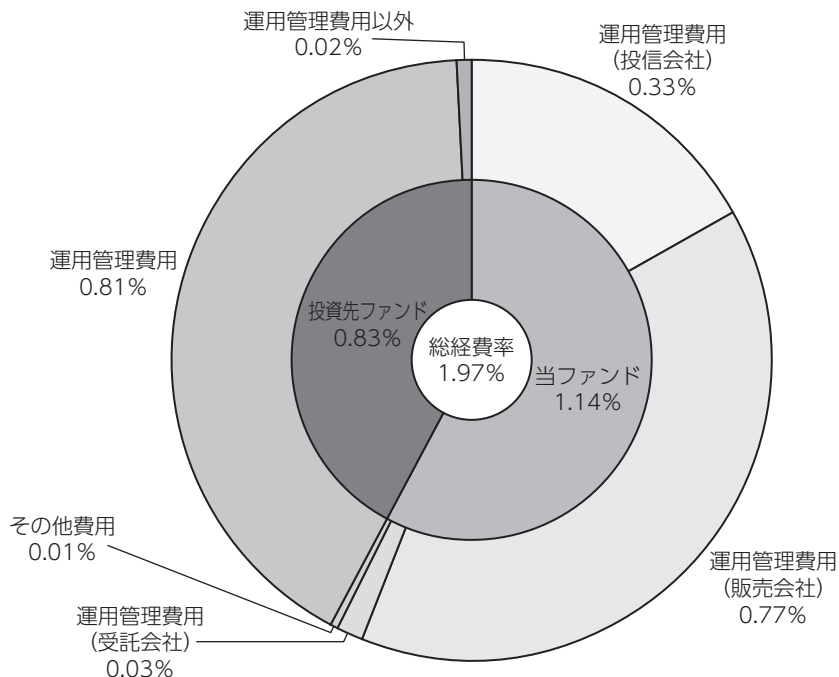
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



総経費率 (①+②+③)	1.97%
①当ファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.81%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2024年10月26日から2025年4月25日まで）

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内	アンカーMF Gグローバル株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千口 366,246.22	千円 819,000	千口 -	千円 -

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アンカーMF Gグローバル株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千口 5,816,927.707	千円 11,824,650	% 98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率	□ 数	評 価 額	比 率
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 0	千円 0	% 1	千口 0	千円 0	% 1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年4月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 11,824,650	% 97.9
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	258,880	2.1
投資信託財産総額	12,083,531	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年4月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	12,083,531,826円
コール・ローン等	258,880,184
投資信託受益証券(評価額)	11,824,650,642
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	1,000
(B) 負債	86,702,736
未払解約金	15,122,946
未払信託報酬	71,059,935
その他未払費用	519,855
(C) 純資産総額(A - B)	11,996,829,090
元本	12,792,213,960
次期繰越損益金	△ 795,384,870
(D) 受益権総口数	12,792,213,960口
1万口当り基準価額(C / D)	9,378円

* 期首における元本額は11,833,126,764円、当作成期間中における追加設定元本額は1,516,364,332円、同解約元本額は557,277,136円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,378円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は795,384,870円です。

■損益の状況

当期 自2024年10月26日 至2025年4月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	398,953円
受取利息	398,953
(B) 有価証券売買損益	△ 984,958,788
売買益	7,041,244
売買損	△ 992,000,032
(C) 信託報酬等	△ 71,579,790
(D) 当期損益金(A + B + C)	△1,056,139,625
(E) 前期繰越損益金	364,205,054
(F) 追加信託差損益金	△ 103,450,299
(配当等相当額)	(339,509,586)
(売買損益相当額)	(△ 442,959,885)
(G) 合計(D + E + F)	△ 795,384,870
次期繰越損益金(G)	△ 795,384,870
追加信託差損益金	△ 103,450,299
(配当等相当額)	(339,509,586)
(売買損益相当額)	(△ 442,959,885)
分配準備積立金	364,205,054
繰越損益金	△1,056,139,625

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	339,509,586
(d) 分配準備積立金	364,205,054
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	703,714,640
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	703,714,640
(h) 受益権総口数	12,792,213,960口

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

(運用報告書に記載すべき事項の提供)

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

(運用状況にかかる情報の提供)

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

<補足情報>

当ファンド（世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2024年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2025年4月25日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2024年10月26日から2025年4月25日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
1296国庫短期証券	2025/6/30	11,489,972			
1277国庫短期証券	2025/3/31	10,796,144			
1286国庫短期証券	2025/5/12	3,497,277			
1266国庫短期証券	2025/2/10	2,499,930			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年4月25日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（22,212,204千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2025年4月25日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国債証券	千円 15,000,000	千円 14,992,218	% 66.3	% -	% -	% -	% -	% 66.3

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2025年4月25日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	1286国庫短期証券		% -	千円 3,500,000	千円 3,499,491	2025/05/12
	1296国庫短期証券		% -	11,500,000	11,492,726	2025/06/30
合 計	銘 柄 数	2銘柄		15,000,000	14,992,218	
	金 額					

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第20期 (決算日 2024年12月9日)

(作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

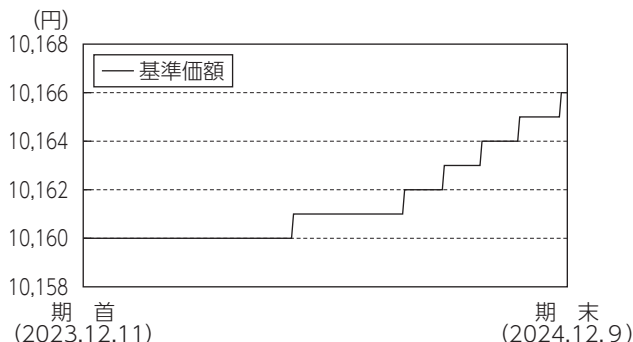
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
(期首)2023年12月11日	円	%	%
	10,160	—	—
12月末	10,160	0.0	—
2024年 1 月末	10,160	0.0	—
2 月末	10,160	0.0	—
3 月末	10,160	0.0	54.3
4 月末	10,160	0.0	61.4
5 月末	10,161	0.0	61.1
6 月末	10,161	0.0	53.7
7 月末	10,161	0.0	53.8
8 月末	10,162	0.0	54.0
9 月末	10,163	0.0	56.8
10 月末	10,164	0.0	52.1
11 月末	10,165	0.0	59.1
(期末)2024年12月 9 日	10,166	0.1	59.0

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,160円 期末：10,166円 騰落率：0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りはおおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3カ月

物）の利回りは低位で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	34,898,602	(21,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

		当		期	
		買	付	売	付
銘	柄	金	額	銘	柄
			千円		千円
1258	国庫短期証券 2024/12/23	11,398,953			
1219	国庫短期証券 2024/6/24	10,999,769			
1239	国庫短期証券 2024/9/24	9,999,950			
1266	国庫短期証券 2025/2/10	2,499,930			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期		末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	うち8B格以下 格以下 組入比率	残存期間別組入比率
	千円	千円	%	%	%
国債証券	13,900,000	13,899,790	59.0	—	59.0

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	年 利 率	当 期		末	
			額 面 金 額	評 価 額	額 面 金 額	評 価 額
		%	千円	千円	千円	千円
国債証券	1258国庫短期証券	—	11,400,000	11,399,837	2024/12/23	
	1266国庫短期証券	—	2,500,000	2,499,953	2025/02/10	
合計	銘柄数 金額	2銘柄	13,900,000	13,899,790		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公社債	13,899,790	57.7		
コール・ローン等、その他	10,201,274	42.3		
投資信託財産総額	24,101,065	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	24,101,065,702円	
コール・ローン等	10,201,274,983	
公社債(評価額)	13,899,790,719	
(B) 負債	539,914,600	
未払解約金	539,914,600	
(C) 純資産総額(A - B)	23,561,151,102	
元本	23,177,163,591	
次期繰越損益金	383,987,511	
(D) 受益権総口数	23,177,163,591口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,166円	

* 期首における元本額は19,198,713,135円、当作成期間中における追加設定元本額は26,183,209,751円、同解約元本額は22,204,759,295円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ゴールド・ファンド (FOF5用) (適格機関投資家専用)	9,272,436,966円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A1新時代- (為替ヘッジあり)	1,316円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A1新時代- (為替ヘッジなし)	1,316円
ダイワFEGグローバル・パリュウ (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・パリュウ (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQGグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	1,862円
NWQGグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	1,862円
世界水資源関連株式ファンド	984円
ダイワ/RICI [®] コモディティ・ファンド	2,074,249円
NWQGグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	1,595円
NWQGグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	1,428円
NWQGグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	1,772円
NWQGグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	1,270円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
ダイワ米圏株ストラテジーα (年2回決算型)	983円
iFreeETF NASDAQ100インバース	1,625,040,517円
iFreeETF NASDAQ100レバレッジ	6,118,952,239円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース	1,922,334,672円
iFreeETF 米国10年国債先物インバース	748,591,588円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ	3,487,675,074円
ダイワ米圏株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	1,851円
ダイワ米圏株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	1,805円
ダイワ米圏株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	1,763円
ダイワ米圏株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	1,957円
ダイワFEGグローバル・パリュウ株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米圏高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	1,773円
ダイワ米圏高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	1,606円
ダイワ米圏高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	1,427円
ダイワ米圏高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	1,922円
ダイワ米圏高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米圏高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	1,705円
ダイワ米圏高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ米圏株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,777円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,166円です。

■損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	10,741,987円
受取利息	11,228,079
支払利息	△ 486,092
(B) 有価証券売買損益	58
売買益	58
(C) 当期損益金(A + B)	10,742,045
(D) 前期繰越損益金	307,369,188
(E) 解約差損益金	△357,989,162
(F) 追加信託差損益金	423,865,440
(G) 合計(C + D + E + F)	383,987,511
次期繰越損益金(G)	383,987,511

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類 信託期間	追加型投信／海外／株式 無期限
運用方針	アンカーMFGグローバル株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用 対象	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) アンカーMFGグローバル株式マザーファンド アンカーMFGグローバル株式マザーファンド 海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
マザー ファンド の運用 方法	1. 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等に中長期に投資することで、一つの経済サイクルを通じて年率10%以上のリターン獲得を目指します。 2. ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 3. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 4. 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億米ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	1. アンカーMFGグローバル株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券への投資割合には制限を設けません。 2. 株式等※への直接投資は、原則として行いません。 ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。以下同じ。 3. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 4. 新興国企業が発行する株式への実質投資割合は、原則として20%以内とします。 5. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する実質投資割合は、原則として30%以内とします。 6. 一銘柄あたりの実質投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の実質投資割合は、原則として40%以内とします。 7. 実質キャッシュ比率は、原則として20%以内とします。 8. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 9. デリバティブ取引は、原則として行いません。
	1. 株式等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 4. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 5. ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 6. キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 7. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 8. デリバティブ取引は、原則として行いません。
分配方針	収益分配金額は、分配対象額の範囲（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含む）等の全額）内で委託会社が基準月額水準、市況動向等を勘案して決定します。但し、必ず分配を行うものではありません。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてペビュファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

アンカーMFGグローバル 株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

運用報告書（全体版）

第6期（決算日 2025年4月1日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、去る2025年4月1日に第6期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部

〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ北山石山森タワー

電話番号：03-5575-5780

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：www.northerntrust.jp/

《アンカーMFG グローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）》

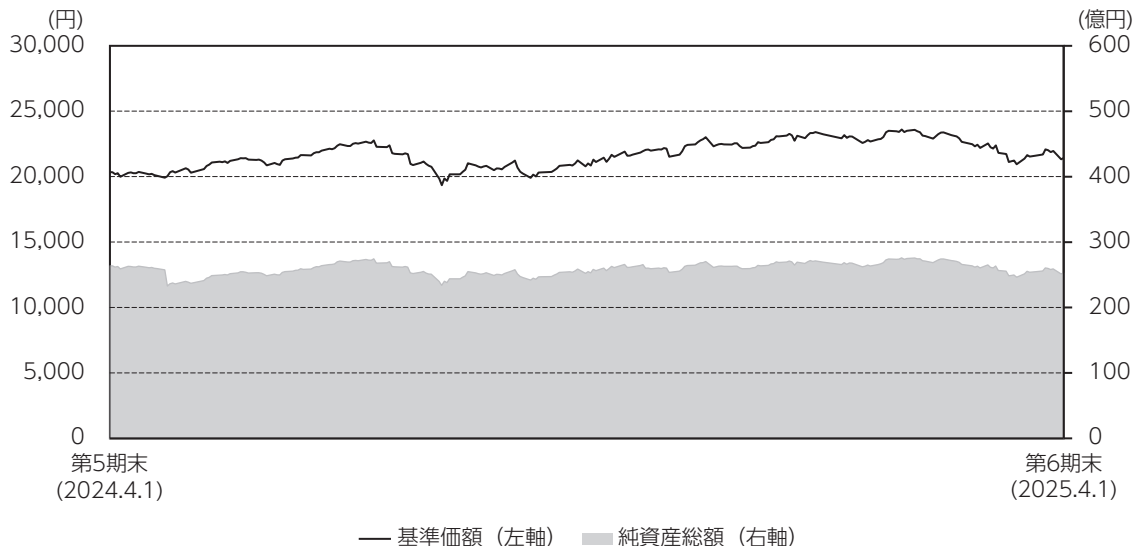
最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	円	税込 分配金	円	期 中 騰落率	期 中 騰落率			
2期（2021年4月1日）	円	円	円	%	%	%	%	百万円
3期（2022年4月1日）	12,607	0	0	33.6	60.0	90.5	3.8	41,518
4期（2023年4月1日）	13,908	0	0	10.3	22.9	88.2	3.5	37,944
5期（2023年4月3日）	14,291	0	0	2.8	1.2	94.5	—	27,202
6期（2024年4月1日）	20,350	0	0	42.4	42.2	94.7	—	26,361
7期（2025年4月1日）	21,423	0	0	5.3	6.5	94.9	—	25,255

(注) 参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース、2019年4月18日を10,000とする。）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期 首：20,350円

期 末：21,423円

騰落率：+5.3%

■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	6.1%

■基準価額の主な変動要因

株式がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。株式では、金融、コミュニケーション・サービス、資本財・サービスでの保有銘柄の株価が上昇しました。為替は、円は米ドルに対し上昇しましたが、その他通貨についてはまちまちとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

アンカーMFGグローバル株式ファンド

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2024年4月1日	円	%		%	%	%
	20,350	—	23,613	—	94.7	—
4月末	20,645	1.4	23,917	1.3	93.2	—
5月末	20,859	2.5	24,480	3.7	94.4	—
6月末	22,473	10.4	25,976	10.0	94.8	—
7月末	20,970	3.0	24,513	3.8	94.0	—
8月末	20,736	1.9	24,087	2.0	95.3	—
9月末	20,786	2.1	24,376	3.2	95.3	—
10月末	22,148	8.8	26,227	11.1	92.2	—
11月末	22,203	9.1	26,372	11.7	95.5	—
12月末	23,241	14.2	27,424	16.1	96.1	—
2025年1月末	23,503	15.5	27,511	16.5	95.8	—
2月末	22,197	9.1	26,042	10.3	95.6	—
3月末	21,324	4.8	25,088	6.2	94.9	—
(期 末) 2025年4月1日						
	21,423	5.3	25,146	6.5	94.9	—

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○世界株式市況

当期の先進国株式市場は、期首と比べて上昇しました。期初は、F R B（米連邦準備制度理事会）による利下げ観測が後退したことなどから下落して始まりました。その後は、米国の対中半導体規制への懸念などから下落する場面もありましたが、投資家による根強い利下げ期待やA I 関連銘柄の物色、また米大統領選挙で当選したトランプ氏による政策が米企業の追い風になるとの見方などから、2025年1月にかけては上昇基調で推移しました。しかしその後2月、トランプ米大統領が一部の国に対しての関税強化を発表したことをきっかけに市場は一転して下落し、その後も米関税政策の先行き不透明感が意識され、期末にかけては上げ幅を縮めました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円高米ドル安となりました。期初は、米国の利下げ観測が後退したことや日銀が金融政策決定会合で政策の維持を決めたことなどから、日米金利差を意識した円売り・米ドル買いが入りました。その後9月にかけては、軟調な米経済指標を受けた米利下げ期待の高まりなどから円は米ドルに対し上昇したものの、その後インフレ再熱懸念や米国の利下げペースの鈍化観測などが浮上すると、円は再び下落しました。期末にかけては、トランプ米政権による関税政策を受けた米景気後退懸念の高まりなどから円は買われる展開となり、期を通じては円は米ドルに対し上昇しました。

前期における「今後の運用方針」

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行います。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行いました。

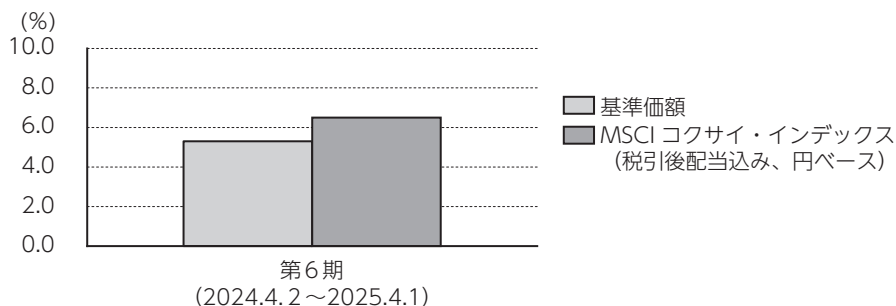
○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業の生産性向上支援やキャッシュレス社会への移行など社会のデジタル化の進展、生活に必要な不可欠な商品やサービスの提供における価格決定力、あるいは各国政府が推進する脱炭素化への取り組みなどを背景としたインフラ投資の拡大というメガトレンドからの恩恵を受けた収益拡大が期待できる企業群であると考えています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、運用財産の成長を目指すファンドの基本方針に鑑みて、配当を行うのではなく再投資に振り向けることにより信託財産の一層の成長を目指すこととし、収益分配を見送らせて頂きました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年4月2日	~2025年4月1日
当期分配金（税込）（円）		0
対基準価額比率（％）		－
当期の収益（円）		－
当期の収益以外（円）		－
翌期繰越分配対象額（円）		11,423

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

トランプ米政権による関税政策を受け、米国経済を巡る不確実性は高まっています。当ファンドでは、トランプ大統領が米国の深刻な景気後退を許容してまで、強気の関税政策を推し進めるとはみていません。今後貿易摩擦が緩和されていくことで、また、米国が景気刺激策を打ち出すことで、株式市場は今後緩やかに回復していくものとみています。ただし、米国と他国との間の関税交渉には一定程度時間を要することが想定され、株式市場は短期的に変動性の高い相場が続くことを予想しています。当戦略では、低感応度銘柄を活用しながらリスク抑制を図るとともに、こうした市場の動向を投資機会としてとらえるべく、引き続き各企業の持つエコノミック・モートを精査しつつ、質の高い企業への厳選投資を行う方針です。銘柄選定にあたっては、引き続き世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄を厳選する方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第6期		項 目 の 概 要
	(2024.4.2~2025.4.1)		
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	179円	0.825%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は21,757円です。
(投信会社)	(171)	(0.785)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(2)	(0.011)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(6)	(0.029)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	－	－	
(c) 売買委託手数料	5	0.023	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(5)	(0.023)	
(d) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	4	0.016	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合 計	188	0.864	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況

(2024年4月2日から2025年4月1日まで)

親投資信託受益証券

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	925,786	2,094,000	2,137,337	4,651,454

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年4月2日から2025年4月1日まで)

項 目	当 期
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	29,878,820千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	28,511,695千円
(c) 売買高比率 (a)÷(b)	1.04

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(2025年4月1日現在)

	期首(前期末)		当 期 末
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	12,446,212	11,234,661	25,307,198

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2025年4月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	25,307,198	100.0
コール・ローン等、その他	12	0.0
投資信託財産総額	25,307,210	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、4月1日における邦貨換算レートは、1米ドル=149.82円、1カナダドル=104.09円、1スイスフラン=169.56円、1ユーロ=162.17円です。

(注3) アンカーMFGグローバル株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(29,013,026千円)の投資信託財産総額(29,097,459千円)に対する比率は99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年4月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	25,307,210,070円
コール・ローン等	11,659
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド(評価額)	25,307,198,411
(B) 負債	51,544,557
未払信託報酬	50,774,557
その他未払費用	770,000
(C) 純資産総額(A-B)	25,255,665,513
元本	11,788,820,168
次期繰越損益金	13,466,845,345
(D) 受益権総口数	11,788,820,168口
1万口当り基準価額(C/D)	21,423円

* 期首における元本額12,953,802,831円、当期中における追加設定元本額969,726,175円、同解約額2,134,708,838円

* 当期末の計算口数当りの純資産総額は2,1423円です。

■損益の状況

当期(自2024年4月2日 至2025年4月1日)

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	1,362,154,563円
売買益	1,559,728,509
売買損	△ 197,573,946
(B) 信託報酬等	△ 214,455,569
(C) 当期損益金(A+B)	1,147,698,994
(D) 前期繰越損益金	10,048,890,248
(E) 追加信託差損益金	2,270,256,103
(配当等相当額)	(964,635,538)
(売買損益相当額)	(1,305,620,565)
(F) 合計(C+D+E)	13,466,845,345
次期繰越損益金(F)	13,466,845,345
追加信託差損益金	2,270,256,103
(配当等相当額)	(966,169,675)
(売買損益相当額)	(1,304,086,428)
分配準備積立金	11,196,589,242

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 分配金の計算過程
計算期間末に、費用控除後の配当等収益額186,713,222円(1万口当り158.37円)、有価証券売買等損益960,985,772円(1万口当り815.17円)、収益調整金額2,270,256,103円(1万口当り1,925.77円)及び、分配準備積立金10,048,890,248円(1万口当り8,524.09円)から分配対象収益額は13,466,845,345円(1万口当り11,423円)となりますが、分配を行いませんでした。

<補足情報>

当ファンド（アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用））が投資対象としている「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の決算日（2024年7月1日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2025年4月1日）現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンドの組入資産の内容を掲載いたしました。

■組入資産明細表

下記は、2025年4月1日現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンド（12,917,208千円）の内容です。

（2025年4月1日現在）

外国株式

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMAZON.COM INC	795	721	13,718	2,055,278	一般消費・サービス・小売
APPLE INC	346	275	6,114	916,118	テクノロジー・ソフトウェア・ハードウェア
YUM! BRANDS INC	478	418	6,578	985,533	消費者サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR SP ADR	-	401	6,660	997,938	半導体・半導体製造装置
COCA-COLA CO/THE	-	287	2,061	308,833	食品・飲料・タバコ
COLGATE-PALMOLIVE CO	791	268	2,516	376,966	家庭用品・パーソナル用品
REPUBLIC SERVICES INC	234	210	5,087	762,251	商業・専門サービス
INTUIT INC	122	98	6,052	906,817	ソフトウェア・サービス
LOWES COS INC	181	-	-	-	一般消費・サービス・小売
MCDONALDS CORP	98	-	-	-	消費者サービス
MICROSOFT CORP	351	387	14,536	2,177,817	ソフトウェア・サービス
NOVO-NORDISK A/S-SPONS ADR	-	717	4,983	746,659	医薬品/バイオ・バイオ医薬品
PROCTER AND GAMBLE CO/THE	-	331	5,652	846,830	家庭用品・パーソナル用品
STRYKER CORP	184	158	5,900	883,962	ヘルスケア機器・サービス
NETFLIX INC	106	78	7,341	1,099,949	メディア・娯楽
UNITEDHEALTH GRP INC	173	134	7,042	1,055,083	ヘルスケア機器・サービス
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	29	1,262	6,338	949,703	消費者サービス
MASTERCARD INC - A	167	161	8,842	1,324,831	金融サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	271	236	8,301	1,243,760	金融サービス
HCA HEALTHCARE INC	182	137	4,752	711,996	ヘルスケア機器・サービス
META PLATFORMS INC-CLASS A	142	132	7,633	1,143,622	メディア・娯楽
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	700	348	6,019	901,824	金融サービス
TRANSCON TECHNOLOGIES PLC	245	-	-	-	資本財
ALPHABET INC-CL A	223	434	6,724	1,007,467	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C	137	109	1,706	255,621	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC	251	617	6,733	1,008,852	公益事業
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,216 2,930	7,930 23銘柄	151,299 22,667,721	151,299 <77.9%>
(ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
SAP SE	545	222	5,433	881,190	ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	545 1銘柄	222 1銘柄	5,433 881,190	<3.0%>
(オランダ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
ASML HLDG NV	86	83	5,035	816,665	半導体・半導体製造装置
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	86 1銘柄	83 1銘柄	5,035 816,665	<2.8%>

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円	
L OREAL	38	157	5,391	874,309	家庭用品・パーソナル用品
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	39	58	3,357	544,501	耐久消費財・アパレル
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	78 2銘柄	215 2銘柄	8,748 1,418,810	<4.9%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	709 4銘柄	521 4銘柄	19,218 3,116,666	<10.7%>
(スイス)	百株	百株	千スイスフラン	千円	
NESTLE SA-REG	511	662	5,919	1,003,678	食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	511 1銘柄	662 1銘柄	5,919 1,003,678	<3.4%>
(カナダ)	百株	百株	千カナダドル	千円	
BROOKFIELD CORP	1,461	985	7,423	772,660	金融サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,461 1銘柄	985 1銘柄	7,423 772,660	<2.7%>
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円	
AIA GRP LTD	4,076	-	-	-	保険
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,076 1銘柄	- -	- -	<-%>
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	12,975 29銘柄	10,100 29銘柄	27,560,727 4,947,727	<94.7%>

- (注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により、邦貨換算したものです。
- (注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
- (注3) 単位未満は切捨て。
- (注4) 業種はG I C S分類（産業グループ）によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
運用方法	1. 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等に中長期に投資することで、一つの経済サイクルを通して年率10%以上のリターン獲得を目指します。 2. ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 3. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 4. 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億米ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	1. 株式等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 4. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 5. ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 6. キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 7. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 8. デリバティブ取引は、原則として行いません。

アンカーMFGグローバル 株式マザーファンド

運用報告書

第6期（決算日 2024年7月1日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」は、去る2024年7月1日に第6期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部

〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ仙石山森タワー

電話番号：03-5575-5780

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

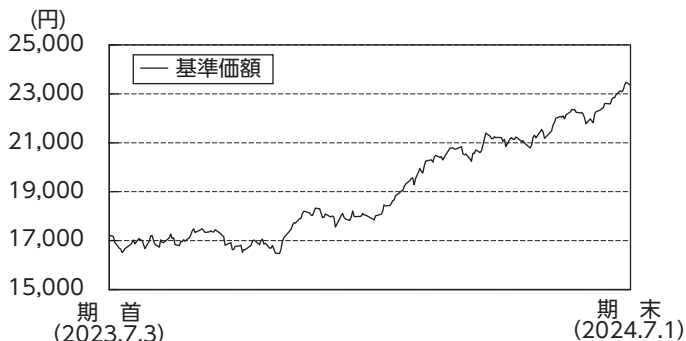
ホームページ：www.northerntrust.jp/

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	投資証券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率		期中騰落率			
2期(2020年7月1日)	10,959	7.8	10,069	2.7	77.1	3.8	13,833
3期(2021年7月1日)	13,728	25.3	14,507	44.1	90.4	3.5	46,328
4期(2022年7月1日)	13,757	0.2	15,286	5.4	88.2	2.7	36,841
5期(2023年7月3日)	17,252	25.4	19,254	26.0	92.9	—	30,236
6期(2024年7月1日)	23,350	35.3	25,916	34.6	94.6	—	31,500

(注) 参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円ベース、2019年4月18日を10,000とする。)を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

■当期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	投資証券組入比率
	円	騰落率		騰落率		
(期首) 2023年7月3日	17,252	—	19,254	—	92.9	—
7月末	16,980	△ 1.6	19,375	0.6	95.0	—
8月末	17,484	1.3	19,704	2.3	95.1	—
9月末	16,768	△ 2.8	19,223	△ 0.2	92.5	—
10月末	16,647	△ 3.5	18,578	△ 3.5	91.3	—
11月末	17,957	4.1	20,026	4.0	93.9	—
12月末	18,044	4.6	20,399	6.0	95.4	—
2024年1月末	19,566	13.4	21,619	12.3	95.3	—
2月末	20,741	20.2	22,663	17.7	94.7	—
3月末	21,215	23.0	23,610	22.6	94.5	—
4月末	21,542	24.9	23,917	24.2	93.2	—
5月末	21,781	26.3	24,480	27.1	94.3	—
6月末	23,479	36.1	25,976	34.9	94.6	—
(期末) 2024年7月1日	23,350	35.3	25,916	34.6	94.6	—

(注) 騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：17,252円 期末：23,350円 騰落率：+35.3%

【基準価額の主な変動要因】

株式および為替がともにプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。株式では、情報技術、コミュニケーション・サービス、一般消費財・サービスでの保有銘柄の株価が上昇しました。為替は、米ドルほかの組入通貨に対して円安となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○世界株式市況

当期の先進国株式市場は、期首と比べて上昇しました。期初から10月にかけては、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融引き締めの長期化懸念や、中国経済や中東情勢の先行き不透明感などから下落しました。その後は、FRBの利上げ終了観測や、米大型ハイテク銘柄や半導体銘柄の良好な決算などの好材料をもとに上昇相場が続ぎ、期を通じては、先進国株式市場は大幅に上昇しました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円安米ドル高となりました。良好な米経済指標やFRB高官のタカ派発言を受け、期初から11月にかけては円売り・米ドル買いが進みました。その後、FRBによる利上げ局面が終了したとの見方が強まると円高に動く場面も見られたものの、堅調な米経済指標や米早期利下げ観測の後退などから、円は米ドルに対し下落基調で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

米国のインフレは沈静化の兆しを見せており、中央銀行の姿勢によっては一時的に市場の変動性が高まる可能性は残るものの、金利上昇を主因とした株価の調整は一巡したと考えています。したがって、株式市場では金融引き締めが実体経済および企業収益に与える影響が重視されるとみえています。当ファンドでは持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、景気の悪化局面においても利益を創出できる銘柄を保有しているため、こうした環境下での底堅いパフォーマンスを見込んでいます。特に、3月の米シリコンバレー銀行の経営破綻の影響については、当ファンドは財務健全性の高い銘柄で構成されており、金融不安の高まる局面においては相対的に優位性を発揮するものと見込んでます。加えて、保有するキャッシュを活用し、ファンダメンタルズから乖離して株価が下落した企業に投資することで、中長期的に良好なパフォーマンスのご提供を目指します。銘柄選定にあたっては、引き続き世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄を厳選する方針です。

◆ポートフォリオについて

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、エコノミック・モート（持続可能な競争優位性）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業の生産性向上支援やキャッシュレス社会への移行など社会のデジタル化の進展、生活に必要不可欠な商品やサービスの提供における価格決定力、あるいは各国政府が推進する脱炭素化への取り組みなどを背景としたインフラ投資の拡大というメガトレンドからの恩恵を受けた収益拡大が期待できる企業群であると考えています。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

基準価額と参考指数の騰落率は、それぞれ+35.3%、+34.6%となりました。

《今後の運用方針》

米国経済は底堅さを保ち、保有銘柄の先行き見通しもおおむね良好とみえています。一方、株式市場では米国の利下げに焦点が集まっており、利下げ時期を巡る思感の変化が、株式市場の変動性を高める可能性を警戒しています。そのため、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を基に良好な業績が期待できる高感応度銘柄の比率を高位に維持しつつも、利下げ等を巡る不確実性にも留意し、低感応度銘柄やキャッシュを活用することで、ポートフォリオの分散も図っていく方針です。銘柄選定にあたっては、引き続き世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄を厳選する方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料 (株式)	2円 (2)
(b) 有価証券取引税	—
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)
合 計	6

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数

(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■ 売買及び取引の状況

(2023年7月4日から2024年7月1日まで)

株 式

	買		売		
	株 数	金 額	株 数	金 額	
アメリカ	百株 3,074 (840)	千米ドル 55,044 (—)	百株 3,387 (—)	千米ドル 68,976 (—)	
カナダ	百株 181	千カナダドル 1,037	百株 561	千カナダドル 2,706	
スイス	百株 238	千スイスフラン 2,339	百株 669	千スイスフラン 6,183	
イギリス	百株 100	千英ポンド 334	百株 2,013	千英ポンド 7,843	
香港	百株 1,075	千香港ドル 7,293	百株 4,979	千香港ドル 28,595	
ユ ー ロ	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ	
	ドイツ	53	880	187	2,678
	フランス	9	586	216	7,118
	オランダ	20	1,379	51	3,724
	ユーロ 通貨計	83	2,846	454	13,521

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) () 内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年7月4日から2024年7月1日まで)

項 目	当 期
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	25,325,103千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	26,870,094千円
(c) 売買高比率 (a)÷(b)	0.94

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(2023年7月4日から2024年7月1日まで)

株式

当				期					
買		付		売		付			
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
META PLATFORMS INC-CLASS A		16	1,191,749	72,209	CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC		2	1,019,433	412,392
COLGATE-PALMOLIVE CO		81	966,582	11,864	LOWES COS INC		25	786,244	31,390
STRYKER CORP		21	916,560	43,140	AMAZON.COM INC		31	751,310	23,844
NOVO-NORDISK A/S-SPONS ADR		42	867,940	20,340	RECKITT BENCKISER GROUP PLC		68	726,145	10,661
REPUBLIC SERVICES INC		26	592,485	22,379	MCDONALDS CORP		17	718,463	42,069
UNITEDHEALTH GRP INC		7	558,692	74,851	DIAGEO PLC		133	717,875	5,386
NETFLIX INC		6	465,307	68,954	NOVARTIS AG-REG		47	704,963	14,744
APPLE INC		14	415,949	28,831	MICROSOFT CORP		12	703,770	57,077
NESTLE SA-REG		23	397,931	16,709	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI		5	646,583	122,737
MICROSOFT CORP		6	362,148	51,950	ASML HLDG NV		5	602,496	118,044

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産の明細

(2024年7月1日現在)

外国株式

銘柄	前期末		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMAZON.COM INC	888	717	13,860	2,234,661	一般消費・サービス・小売
APPLE INC	442	393	8,289	1,336,563	テクノロジー・ハードウェア・小売
YUM! BRANDS INC	593	403	5,347	862,227	消費者サービス
COLGATE-PALMOLIVE CO	-	739	7,172	1,156,393	家庭用品・パーソナル用品
REPUBLIC SERVICES INC	-	216	4,215	679,684	商業・専門サービス
INTUIT INC	180	118	7,789	1,255,861	ソフトウェア・サービス
LOWES COS INC	395	149	3,287	529,972	一般消費・サービス・小売
MCDONALDS CORP	237	67	1,714	276,356	消費者サービス
MICROSOFT CORP	368	314	14,063	2,267,494	ソフトウェア・サービス
NOVO-NORDISK A/S-SPONS ADR	-	426	6,090	982,006	医薬品/ヘルスケア・ライフサイエンス
PEPSICO INC	155	-	-	-	食品・飲料・タバコ
STRYKER CORP	-	170	5,815	937,641	ヘルスケア機器・サービス
NETFLIX INC	82	115	7,792	1,256,439	メディア・娯楽
UNITEDHEALTH GRP INC	131	166	8,474	1,366,276	ヘルスケア機器・サービス
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	37	857	5,372	866,165	消費者サービス
MASTERCARD INC - A	208	155	6,875	1,108,533	金融サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	359	252	6,617	1,066,964	金融サービス
HCA HEALTHCARE INC	187	169	5,438	876,818	ヘルスケア機器・サービス
META PLATFORMS INC-CLASS A	-	157	7,944	1,280,971	メディア・娯楽
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	729	673	9,216	1,486,047	金融サービス
TRANE TECHNOLOGIES PLC	258	209	6,890	1,110,890	資本財
EVERSOURCE ENERGY	354	-	-	-	公益事業
ALPHABET INC-CL A	238	206	3,757	605,833	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C	287	110	2,028	327,075	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC	404	279	2,190	353,140	公益事業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,542 20銘柄	7,070 23銘柄	150,245 24,224,020	<76.9%>
(フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円	
L OREAL	46	35	1,457	252,494	家庭用品・パーソナル用品
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	81	34	2,475	428,901	耐久消費財・アパレル
SAFRAN SA	149	-	-	-	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	277 3銘柄	70 2銘柄	3,932 681,396	<2.2%>
(ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
SAP SE	626	492	9,326	1,615,838	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	626 1銘柄	492 1銘柄	9,326 1,615,838	<5.1%>
(オランダ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
ASML HLDG NV	115	85	8,240	1,427,671	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	115 1銘柄	85 1銘柄	8,240 1,427,671	<4.5%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,019 5銘柄	647 4銘柄	21,498 3,724,906	<11.8%>

銘柄	前期末		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(スイス)	百株	百株	千スイスフラン	千円	
NOVARTIS AG-REG	478	-	-	-	医薬品/ヘルスケア・ライフサイエンス
NESTLE SA-REG	518	565	5,185	929,183	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	996 2銘柄	565 1銘柄	5,185 929,183	<2.9%>
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド	千円	
DIAGEO PLC	1,232	-	-	-	食品・飲料・タバコ
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	681	-	-	-	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,913 2銘柄	- 1銘柄	- -	<-%>
(カナダ)	百株	百株	千カナダドル	千円	
BROOKFIELD CORP	1,742	1,363	7,756	914,561	金融サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,742 1銘柄	1,363 1銘柄	7,756 914,561	<2.9%>
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円	
AIA GRP LTD	3,903	-	-	-	保険
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,903 1銘柄	- 1銘柄	- -	<-%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	16,118 31銘柄	9,647 29銘柄	29,792,671 4,946,671	<94.6%>

- (注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
(注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
(注3) 単位未満は切捨て。
(注4) 業種はGICS分類(産業グループ)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

■投資信託財産の構成

(2024年7月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	29,792,671	94.6
コール・ローン等、その他	1,707,666	5.4
投資信託財産総額	31,500,337	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月1日における邦貨換算レートは、1米ドル=161.23円、1カナダドル=117.91円、1スイスフラン=179.18円、1ユーロ=173.26円です。

(注3) 当期末における外貨建資産 (31,417,745千円) の投資信託財産総額 (31,500,337千円) に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年7月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	31,503,328,530円
コール・ローン等	1,705,681,349
株式 (評価額)	29,792,671,738
未収入金	2,991,308
未収配当金	1,984,135
(B) 負債	2,998,364
未払金	2,998,364
(C) 純資産総額(A - B)	31,500,330,166
元本	13,490,766,970
次期繰越損益金	18,009,563,196
(D) 受益権総口数	13,490,766,970口
1万口当り基準価額(C/D)	23,350円

* 期首における元本額17,526,930,652円、当期中における追加設定元本額562,329,819円、同解約額4,598,493,501円

* 当期末における当マザーファンドを対象とする投資信託元本額は、アンカーMFGグローバル株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 11,556,434,832円、アンカーMFGグローバル株式ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 134,624,624円、アンカーMFGグローバル株式ファンド (分配型) (適格機関投資家専用) 1,799,707,514円

* 当期末の計算口数当りの純資産総額は2,3350円です。

■損益の状況

当期 (自2023年7月4日 至2024年7月1日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	296,937,578円
受取配当金	267,020,830
受取利息	29,916,748
(B) 有価証券売買損益	8,258,030,833
売買益	9,482,901,945
売買損	△ 1,224,871,112
(C) 信託報酬等	△ 6,238,048
(D) 当期損益金(A + B + C)	8,548,730,363
(E) 前期繰越損益金	12,709,798,214
(F) 追加信託差損益金	657,983,850
(G) 解約差損益金	△ 3,906,949,231
(H) 合計(D + E + F + G)	18,009,563,196
次期繰越損益金	18,009,563,196

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。